



シラバス参照

タイトル「2020年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	問題探究セミナー I		
担当教員	未吉 健治		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:E
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
備考			
特修プログラム		ナンバリング	g3310010
教育目標との関係 (DPポイント配分)	基盤教育 基盤教育	最新の専門知識及び技術	20 %
		本質を見極めるための教養と学際性	20 %
		協働的な問題探究	30 %
		社会の改善につなげる創造性	20 %
		市民としての主体的態度	10 %
授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 発表 <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> ICT機器の活用		
授業概要とねらい	本演習は、これからの学習のために必要となる基本的な作法を習得することを目的とする。自然災害を題材として、文献・資料の収集やそれを用いたレポートの作成、プレゼンテーションの方法を学ぶ。		
単位認定基準	資料収集・レジュメの作成ができるようになる。 レポートの作成、プレゼンテーションの仕方などを習得する。 3.自らの考えを自らの言葉で説得的に表現できる。		
授業計画	第1回 インTRODクシヨン 第2回 災害とは何か(定義) 第3回 個別事例(冷害, 火災) 第4回 個別事例(水害, 地震関連災害) 第5回 個別事例(雪害) 第6回 個人課題の設定(1グループ) 第7回 個人課題の設定(2グループ) 第8回 福島市のハザードマップについて 第9回 個人発表(1班) 第10回 個人発表(2班) 第11回 個人発表(3班) 第12回 個人発表(4班) 第13回 個人発表(5班) 第14回 個人発表(6班) 第15回 まとめ		
教材・教科書	特に使用しない。		
参考図書	その都度紹介する。		
参考URL			
授業以外の学習	毎回、課題を示すので、それに基づいてレポート作成の準備を進める。		
成績評価の方法	・授業への参加姿勢 ・レジュメ, レポート, プレゼンテーションの完成度。 なお, 3回以上の無断欠席, 正当な理由のないレポートの欠席は即F評価となります。		
成績評価の基準	S:単位認定基準を満たし, かつ全ての項目で優秀な学習成果をあげた(90~100点) A:単位認定基準を満たし, かつ多くの項目で優秀な学習成果をあげた(80~89点) B:単位認定基準を満たし, かついくつかの項目で優秀な学習成果をあげた(70~79点) C:単位認定基準を満たす最低限の学習成果をあげた(60~69点)		

	F:単位認定基準を満たす学習成果をあげられなかった(～59点)
オフィスアワー	火曜日の12:00～13:00(必ず、メールで事前に連絡すること)
授業改善・工夫	受講者にあわせて、取り上げる題材を吟味している。
留意点・注意事項	
教員の実務経験の有無	



Copyright (c) 2004-2011 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.